

- III. 総合討議
- IV. 参考資料
- V. アンケート結果

「保存科学」50号の出版 (©保04-10-5/5)

所属研究員による文化財の保存と修復に関する科学的調査、研究、受託研究報告等の論文、報告および修復処置概報等を掲載している。



『保存科学』第50号

亀井伸雄「『保存科学』50号出版のご挨拶」

犬塚将英、多比羅菜美子、佐野千絵

「収蔵庫内の温湿度環境とスチール棚の表面温度」

三村衛、長屋淳一、石崎武志

「動的解析による高松塚古墳の損傷要因の検討」

小椋大輔、銚井修一、高橋公一、木村奈津子

「闘鶏山古墳の石槨内部発掘調査時の空調制御方法に関する研究」

Rudolf PLAGGE, Takeshi ISHIZAKI and Masahide INUZUKA

「Simulation Analysis on the Drying Process of Tuff Breccia Stone Composing the Stone Chamber of Takamatsuzuka Tumulus」

朽津信明「日本における覆屋の歴史について」

今井健一郎、二神葉子「諸外国における文化財の把握と輸出規制の概要」

藤澤明、島津美子、佐藤由季、松岡秋子「壁画断片とマウントの接着方法及び接着強度の検討」

加藤雅人、君嶋隆幸、酒井良次、川野邊渉

「三軸織物、紙貼合シートの特性—紙本絹本文化財の裏打を想定して—」

呂俊民、佐野千絵、加藤和歳「内装材料の異なる収蔵庫の空気環境の比較」

吉川也志保、佐野千絵、石崎武志

「亜寒帯湿潤大陸性気候における資料保存環境調査

—付着菌、空中浮遊菌のサンプリングを中心として—」

原田正彦、野村牧人、木川りか、小峰幸夫、林美木子、川野邊渉、石崎武志

「栃木県日光山内・中宮祠・中禅寺の歴史的建造物を対象とした捕虫テープによる広域虫害調査について」

林美木子、小峰幸夫、木川りか、原田正彦、川野邊渉、石崎武志

「日光の歴史的建造物において捕虫テープ（ハエ取り紙）に捕獲された甲虫の集計方法及び調査結果」

小峰幸夫、林美木子、木川りか、原田正彦、三浦定俊、川野邊渉、石崎武志

「日光の歴史的建造物で確認されたシバンムシ類の種類と生態について」

木川りか、小峰幸夫、鳥越俊行、原田正彦、今津節生、本田光子、三浦定俊、川野邊渉、石崎武志

「日光の歴史的建造物を加害するシバンムシ類の殺虫処理方法の検討」

藤井義久、藤原裕子、木川りか、原島誠、喜友名朝彦、杉山純多、早川典子、川野邊渉

「巖島神社大鳥居の生物劣化調査」

藤井義久、藤原裕子、須田達、鈴木佳之、喜友名朝彦、杉山純多、小峰幸夫、木川りか、川野邊渉

「東本願寺阿弥陀堂の生物劣化調査」

藤井義久、藤原裕子、木川りか、川野邊渉、永石憲道、中嶋啓二

「ガンマ線を用いた木製円柱の内部劣化の検出」

木川りか、佐野千絵、喜友名朝彦、立里臨、杉山純多、早川典子、川野邊渉

「キトラ古墳の微生物調査報告 (2010)」

林美木子、ニコラ・マッキオーニ、ピエロ・ティアノ、吉田直人、佐野千絵、イオン・サンズ

「ルーマニアにおける板絵の伝統的予防処理方法とその効果」

吉田直人「可視反射スペクトルと二次微分スペクトルによる青色色材の判別に関する検討」

早川泰弘「ポータブル蛍光X線分析装置による沖縄県所在ガラス製品の現地調査」

北野信彦、本多貴之、松尾昭子、高妻洋成

「鷹島海底遺跡出土の元寇関連漆製品に関する調査」

吉田直人、佐野千絵、石崎武志「展示公開施設の館内環境調査報告 一平成21年度一」

第33回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会 報告書 (⑥修07-10-1/1)

『日本絵画の修復 一先端と伝統一』

刊行にあたって

目次

(凡例)

開催要項

組織委員会

開催趣旨

プログラム

報告

鬼原俊枝 (文化庁・日本) 「日本における絵画修理の理念」

川野邊渉 (東京文化財研究所・日本) 「日本絵画修復における自然科学の役割」

杉山恵助 (大英博物館・英国) 「大英博物館における日本絵画の保存修復」

ジェニファー・ペリー (クリーブランド美術館・米国) 「クリーブランド美術館における東洋絵画修復」

中山俊介 (東京文化財研究所・日本)

「東京文化財研究所事業『在外日本古美術品の修復協力プロジェクト』における海外工房での修復」

大川昭典 (和紙技術研究者・日本) 「材料からみた和紙の歴史的変化」

稲葉政満 (東京芸術大学・日本) 「和紙の保存性」

加藤雅人 (東京文化財研究所・日本) 「補紙・補絹の動向」

早川典子 (東京文化財研究所・日本) 「絵画修復に使われる糊と布海苔」

森田恒之 (愛知県立芸術大学客員教授、国立民族学博物館名誉教授・日本) 「日本の膠」

田畔徳一 (国宝修理装飾師連盟・日本) 「乾式肌上げ法—伝統技術から近代技術へ—」

山本記子 (国宝修理装飾師連盟・日本) 「新しい材料と新しい技術—科学の裏づけと技術者の選択—」

ブライス・マッカーシー (フリーア美術館とアーサー M. サックラー ギャラリー・米国)

「フリーア美術館における科学的研究と絵画のコンサベーション」

ジャッキー・エルガー (ボストン美術館・米国)

「ボストン美術館における日本絵画コレクションの保存修復と科学分析」

本田光子、藤田励夫、志賀智史 (九州国立博物館・日本)

「伝統を継承する先端施設の取り組み—九州国立博物館の場合—」



Frontispiece

Preface